

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

部局名	会計管理監【会計課】	部局長名	鮫島 利夫
-----	------------	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	0.1 億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		9人	0人	9人

部局の使命 (組織の存在価値)	公金の保全と運用。	組織目標像	<p>【施策の目標像】 監視会計から経営会計へ。 “正しく、早く、明証する。”</p> <p>【組織の目標像】 会計事務のスリム化。</p>
--------------------	-----------	-------	--

平成 2 1 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標 (めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況 (年度中間)	年度末の達成状況
事務の省力化	(1) 公共料金の口座引落とし	関係者協議と事例研究	H22 導入に向け対応を検討中。	関係機関との課題解決ができず、H22 当初からの導入はできなかった。
	(2) 会計事務のマニュアル化	マニュアルによる研修会開催	契約検査課合同で説明会を開催。	
経営会計	(1) 資金計画と資産運用	収支計画書作成と積立金の運用	普通から定期へこまめな運用を行っている。国債を購入した。	適切な切替え等により、効果的な運用に努めた。
ディスクロージャー	(1) 経営成績, 財政状況, 業務状況の公開	連結決算の研究	財務にあわせ研究している。	財政課において 4 月公表予定。
年度中間総括	1 庶務事務担当者を対象にマニュアルによる発注業務・会計事務の研修会を実施し、事務の省力化・迅速化を図った。 2 事務処理フローを円滑にするため、書類上で経過・記録の明証と連携・疎通の強化を図った。 3 課内では各種研修会に参加し、日常の会計事務の問題解決について研究をした。			
年度末総括	1 公共料金の口座引落としについては、課題解決に至らず年度当初導入はできなかったが、今後、一部導入も含め研究の必要がある。 2 新財務会計システム対応が喫緊の課題とされるため、課内研修等を通じて相互の理解を深めた。			